

教科の概要（国語）

I. 目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- (3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

II. 観点別評価の規準と基準

		規 準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	十分満足できる			
	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識及び技能など、生涯にわたる社会生活に必要な国語の特質について 的確に 理解し、それを 主体的かつ適切に使うことができる 。 【概ね達成率 80%以上】	互いの立場や考えを尊重し、言語を通して 的確に 理解したり 効果的に 表現したりして、円滑に相互伝達、相互理解を進め、一人一人が良好な人間関係づくりに積極的に関わろうとすることができる。また、言語を手掛かりとしながら創造的・論理的に考えたり、深く共感したり豊かに想像したりすることで、 主体的に新たな発想や思考を創造しよう とすることができる。 【概ね達成率 80%以上】	言葉がもつ価値への認識を 主体的に 深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言語を通して 積極的に 他者や社会に関わろうとすることができる。 【概ね達成率 80%以上】	
B	おおむね満足できる			
	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識及び技能など、生涯にわたる社会生活に必要な国語の特質について 的確に 理解し、 適切に使うことができる 。 【概ね達成率 50%以上】	互いの立場や考えを尊重し、言語を通して 的確に 理解したり表現したりして、円滑に相互伝達、相互理解を進め、一人一人が良好な人間関係づくりに積極的に関わろうとすることができる。また、言語を手掛かりとしながら創造的・論理的に考えたり、深く共感したり豊かに想像したりすることで、 新たな発想や思考を創造しよう とすることができる。 【概ね達成率 50%以上】	言葉がもつ価値への認識を 自主的に 深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言語を通して 積極的に 他者や社会に関わろうとすることができる。 【概ね達成率 50%以上】	
C	努力を要する			
	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識及び技能など、生涯にわたる社会生活に必要な国語の特質について理解することができる。	互いの立場や考えを尊重し、言語を通して理解したり表現したりして、円滑に相互伝達、相互理解を進め、一人一人が良好な人間関係づくりに積極的に関わろうとすることができる。また、言語を手掛かりとしながら創造的・論理的に考えたり、深く共感したり豊かに想像したりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言語を通して他者や社会に関わろうとすることができる。	

(別表4)

III. 授業の概要

教科	国語	科目	古典探究	単位数	2	年次	2
使用教科書	精選古典探究古文編 (三省堂) 精選古典探究漢文編 (三省堂)						
副教材等 <small>*は1年次より継続使用</small>	巻頭増補版最新国語便覧 (浜島書店) * わかる・読める・解ける Key&Point 古文単語 330 三訂版 (いいずな書店) * 基礎から学ぶ解析古典文法三訂版 (桐原書店) * 基礎から学ぶ解析古典文法三訂版演習ノート (桐原書店) * 必携新明説漢文～句法と語彙を一緒に学ぶ～ (尚文出版) * 必携新明説漢文ノート～句法と語彙の定着を図る～修訂版 (尚文出版) * 大学入試国語頻出問題 1200 四訂版 (いいずな書店) 3ステップオリジナル問題集練成古典 (古文・漢文) 2+大学入学共通テスト対策版 (尚文出版) 短期集中シリーズ 和歌 (解釈・修辞・読解) (桐原書店) 短期集中シリーズ 古文ノート 助詞・敬語・識別編[改訂版] (桐原書店)						

1. 学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 3観点の評価規準

規 準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察することができる。 ・ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。
上記の規準に対して、「十分満足できる」場合は A, 「おおむね満足できる」場合は B, 「努力を要する」場合は C として評価する		
評 価 方 法		
ペーパーテスト等	ワークシート 発表等	行動観察 ポートフォリオ等

(別表4)

3. 学習内容

1 学 期	【古】一 説話 (4月) 【古】二 随筆 (一) (5月) 【漢】一 漢詩・二 故事成語 (5月) 【漢】三 史伝 (6月) 【古】三 物語 (一) (7月)
2 学 期	【古】四 随筆 (二) (9月) 【漢】四 文章 (10月) 【古】五 物語 (二) (11月) 【古】六 日記 (12月)
3 学 期	【漢】六 小説 (1月) 【古】七 軍記 (2月) 【古】八 伝承・伝説 (2月) 【漢】七 日本の漢詩文 (3月) 【古】九 和歌・連歌・俳諧 (3月)

4. 学習方法

テストは年に5回(1学期中間・1学期期末・2学期中間・2学期期末・学年末)行われます。また定期的に知識力テストや古文単語テスト等を実施します。

また、定期的に以下の提出物がありますので、期限内に提出して下さい。

- ①振り返りレポート(年5回の定期考査後など)
- ②週末課題等